

雪堆積場の雪冷熱利用技術に係る基礎実験について

第 56 回（平成 24 年度）北海道開発技術研究発表会

2013 年 02 月 19 日～2013 年 02 月 21 日

永長 哲也（寒地機械技術チーム）／片野 浩司（寒地機械技術チーム）／山口 和哉（寒地機械技術チーム）

再生可能エネルギーである雪冷熱の利用は、一部で実用化されているものの、大規模な雪冷熱需要施設での利用は技術的に体系化されていない。また、都市部では、雪堆積場の確保が年々厳しくなり運搬距離が遠距離化しているため、雪を積んだダンプトラックの運搬距離が長くなることで運搬排雪コストが増加している。このことから、雪冷熱の利用に関するアンケート調査を実施し、雪山を造成して基礎実験を行ったので報告する。

**本論文閲覧ご希望の方は、当該学会等にお問い合わせください。**